

伐採・造林一貫作業システムによる低コスト施業

1. ねらい

戦後造成された人工林が本格的な利用期を迎え、今後、主伐の増加が見込まれることから、林業の持続に向けて再造林を円滑に行うため、造林コストの低減を図ります。

2. 概要

伐採・造林一貫作業システムとは、伐出機械を再造林作業の一部に利用したり、コンテナ苗を活用して、当年度中に伐採から地拵・植栽までを終わらせる低コスト作業システムです。

3. 成果

(1) 車両系システムでは、伐採搬出機械を使用した機械地拵により、末木枝条等を整理することが可能です。(人力地拵比約47%コスト減)



油圧ショベル(バケット)



油圧ショベル(グラップル)



作業後のイメージ

(2) 架線系システムでは、全木集材による末木枝条の搬出により、地拵作業の省力化が可能です。(人力地拵比約17%コスト減)



全木集材



コンテナへ積込



トレーラー運搬

4. 問い合わせ先

森林整備課 電話026-236-2566